「今さら聞けない」「ちょっと気になる」…
食についての基本のキを、毎月1回紹介します。

食べものナビゲーター

FOOD NAVIGATER

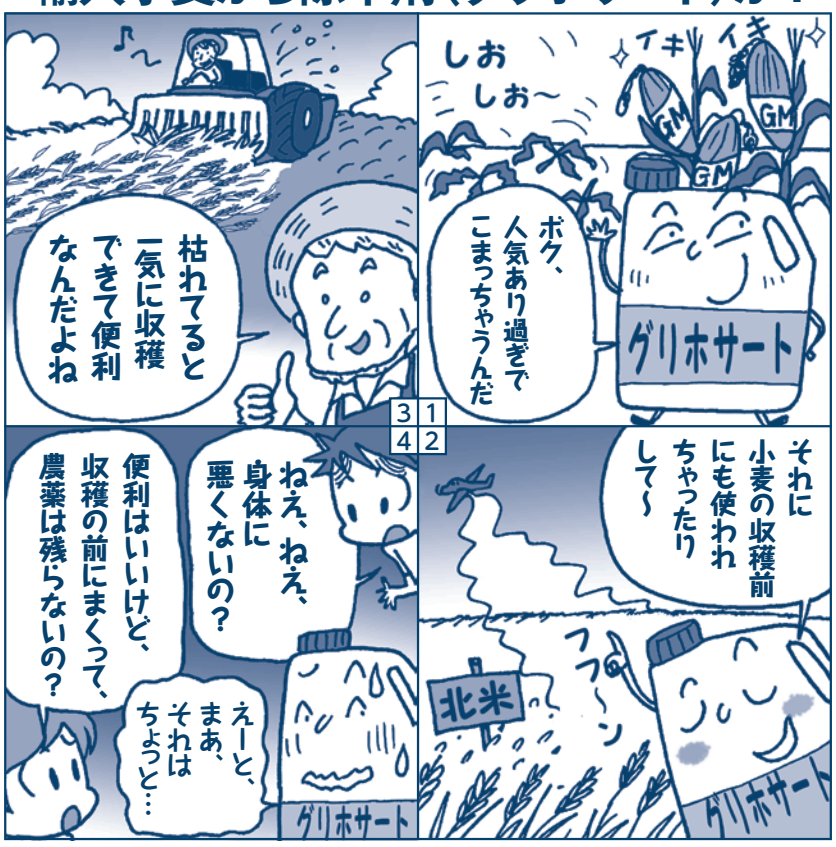
10月

vol.112 2020年9月21日発行

パルシステム東京のホームページでも公開

公園や家庭などでも一般的に使われている除草剤グリホサートが、輸入小麦から検出されて問題になっています。どんなものかご存知ですか?

輸入小麦から除草剤（グリホサート）が！



「グリホサート」って何?

除草剤で枯れない遺伝子組み換え種子とセット販売

グリホサートは販売量が世界で最も多く、効果が強い**除草剤の主成分**。**「ラウンドアップ」**などの名前で販売されています。グリホサートを散布しても枯れない、遺伝子組み換え種子（ダイズ、トウモロコシ、ナタネなど）とセットで農家に販売されています。雑草だけを枯らし除草の手間を省けるため、アメリカ、カナダなどで大量に使われています。

*日本では遺伝子組み換え作物の栽培は認められていません（観賞用のバラを除く）。

小麦などの収穫前散布（プレハーベスト）や家庭用の除草剤にも

北米などの小麦、大豆、小豆産地では、**収穫前にグリホサートを散布し、枯らしてから収穫する**のが一般的です。広大な畑での収穫には大型機械を使うため、全体が均一に枯れていた方が効率がよいからです。しかし、収穫直前の散布では**残留農薬が懸念**され、実際に多くの輸入小麦からグリホサートが検出されています。一方、日本では、校庭や公園、家庭用の除草剤など、身近なところでもグリホサートは多く使われています。

「グリホサート」は何が問題?

健康面

2015年に「国際がん研究機関（IARC）」（※1）が**「おそらく発がん性がある」**と発表。また、最近の調査では肝臓障害、皮膚炎や子供の発達障害など、身体への影響が指摘されています。

※1 世界保健機関（WHO）の一機関で発がん状況の監視、発がん原因の特定などを調査する機関

環境面

2010年代には**グリホサートを散布しても枯れないスーパー雑草**が出現。より効果が強い除草剤も使われるようになり、土壌や微生物など生態系への影響が心配されています。

世界ではグリホサートの規制が始まっている!

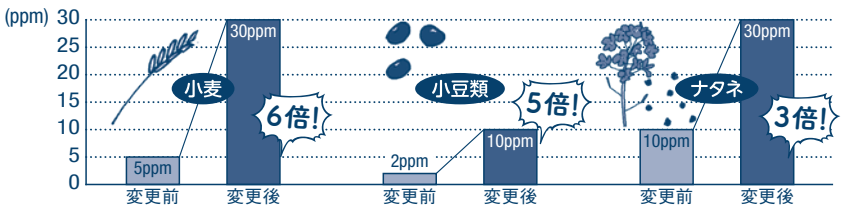
世界ではグリホサートによる健康被害で数万件とも言われる訴訟が進行しています。2020年6月、バイエル社（※2）は1兆円超の和解金でグリホサートの裁判の多くを解決すると発表しました。世界では使用禁止や削減がすすんでいますが、**日本では残留農薬基準値を大幅に緩和**しました。

※2 ドイツの化学企業。グリホサートを開発した米モンサント社を2018年に買収。

■グリホサートの規制状況

メキシコ	2024年までに段階的に禁止
ベトナム	2019年新規輸入禁止
アメリカ・カナダ	州によって規制
ドイツ	2023年までに全面禁止
日本	**2017年残留農薬基準値を大幅に緩和**

■日本のグリホサート残留基準値〜2017年から大幅に緩和!〜



輸入小麦にはグリホサートが残留している?

日本の小麦自給率はわずか16%（2019年）で、多くをアメリカ、カナダからの輸入に頼っています。2019年に行われた市販食パンのグリホサート残留調査（※3）では13品のうち9品から検出されましたが、国産小麦の食パンからは検出されませんでした。輸入小麦の大半はプレハーベスト後に収穫されるため、高い確率でグリホサートが検出されると考えられます。 ※3 農民連食品分析センターによる食パンのグリホサート残留検査より

グリホサート検査の取り組み

2019年5月、日本でも、グリホサートの毛髪検査などを行う「デトックス・プロジェクト・ジャパン」が設立されました。アメリカで遺伝子組み換え食品やグリホサート問題に取り組むゼン・ハニーカットさん（「マムズ・アクロス・アメリカ」創設者）の活動に影響を受けたもので、国内でもグリホサート検査運動が徐々に広がっています。

詳しく知りたい方は kokocara　マムズ・アクロス・アメリカ 検索

国産小麦への切り替えがすすむパルシステムのパン

組合員の声を受けて、パン原料の国産小麦への切り替えがすすんでいます。今回、新たに**国産小麦を使用した「国産小麦もっちり食パン」**が新登場！

担当者に開発の経緯を聞きました。

「国産小麦もっちり食パン」開発のきっかけは?

10月1回 コトコト
10月2回 きなり
に新登場!

組合員のみなさんから「国産小麦の食パンが欲しい」という多くの声をいただき、開発しました。長年愛されている「こだわり酵母食パン」に負けないパンを作りたいという熱い思いから開発が始まり、大切な人にプレゼントしたいパンになるよう愛情をこめて作りました。

（パルブレッド／向明戸さん）

パルシステムのパンをすべて国産小麦使用にできないのはなぜ?

現状では、すべての商品に使用できるだけの国産小麦を確保することが難しいためです。今回は産地にご協力いただいて、食パンを製造できるだけの量をなんとか確保しました。

（パルシステム連合会／岡野さん）

おすすめの食べ方

今までのパルシステムオリジナル製品にはない、柔らかくもっちりとした食感が特徴。そのまま食べても十分おいしいですが、この食感を生かしたフルーツサンドが絶品。生クリームとフルーツが、柔らかくちょっと甘めの生地によく合います。（岡野さん）

もっちりとした食感と小麦の自然な味わいを感じてください。トーストをせずにそのまま食べるのがおすすめです。（向明戸さん）

「国産小麦もっちり食パン 1斤6枚」 10月1回コトコト　注文番号 144　**192**円（税込）

※「きなり」ご利用の方は10月2回に掲載します。お楽しみに！

食べものナビゲーター（食ナビ）では、ご感想、商品に関するご意見・ご質問をお待ちしております。shoku-navi@pal.or.jpまで。

キッチンから考える 53

Think from Kitchen

発行 2020年9月21日

注文した商品が、翌週には自宅に届く…どのようなシステムになっているのでしょうか？　コロナ禍の影響でご注文いただいた商品を、お届けできない状況もありました。パルシステムの配達の舞台裏をのぞいてみました。

パルシステムの舞台裏 商品が届くまで

注文した商品はわが家にどうやって届くのかしら？

注文

データセンター

集まった注文データをまとめ、産地・メーカーに発注

産地メーカー

セットセンター（8か所）

入荷した商品を検品し、注文通りにセットする。青果、冷蔵品、冷凍品、常温品など、それぞれに適した温度管理で作業するため、商品によって受け入れセンターが違う。

- **青果**
- **冷凍品**（−18℃）
- **常温品**（常温）
  パン、米、日用品など
- **冷蔵品**（10℃以下）
  - **一般の冷蔵品**
    肉、牛乳、豆腐など
  - **お料理セット・こんせん牛乳**
    鮮度保持のため、出庫時間を遅くする

組合員別にセットされた商品は、配送センターへ

冷蔵品専用の熊谷セットセンター新設

取扱量が多い生鮮品の物流が、強化されました。

配送センター（都内17か所）

組合員ごとに商品を仕分けして配達

品温管理を徹底するため、青果専用の蓄冷材や断熱効果の高いシッパー（発泡スチロールの箱）に切り替え中

こうやって届くのね

効率よい物流体制づくりを、全力で進めています

茂木パルシステム連合会 物流部長

ここが知りたい 商品のお届け

ここのところ、欠品が多いのはなぜ？　予定したものが、何品も届かないと困ります。

私がお答えします！

杉村パルシステム東京 業務執行理事

コロナの感染は収まりそうもないけれど、これからの見通しは？

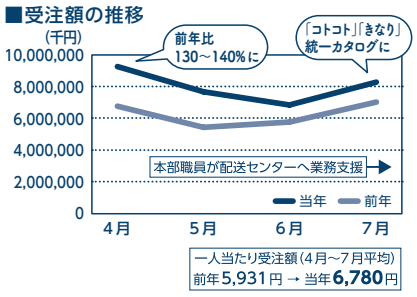
欠品が多くなり、ご不便をおかけしていることを深くお詫びいたします。

4月〜5月にかけて、外出自粛で注文数が激増し、商品を入荷するセットセンターの処理能力を超えてしまったためです。現在は熊谷セットセンターの新設などで、物流都合による欠品はほぼ改善されています。

しかし、7月の大雨・天候不良の影響や、宅配需要の増加・国内原料の品薄で、青果、産直牛肉、バターなどの欠品が続いてご迷惑をおかけしています。調達努力を続けるとともに、「パルくる便」登録者(※)に優先的にお届けする、抽選方法を改善するなどの対策を検討していきます。

※パルくる便：登録した商品を定期的にお届けするシステム。

■受注額の推移



一人当たり受注額（4月〜7月平均）
前年5,931円 → 当年**6,780**円

天候不良の影響や原料・製造事情の切迫は続く見通しです。

以下の商品は今後も欠品や規格変更、数量制限が予想されます。できるかぎり欠品などを減らす努力を続けますが、ご理解をお願いいたします。

青　果

レタス、サニーレタス、トマト、きゅうり、なす、ピーマン、人参
里芋、じゃがいもなど

❗数量不足のため見た目だけの軽い被害のものは、お届けすることもあります。

里芋に発生した疫病

数量制限が予想される商品

畜産品／牛・豚・鶏肉、バター

一般食品／納豆、冷凍パスタ、ホットケーキミックス、スパゲッティ（乾麺）、カットトマト、素材で選ぶマヨネーズ、シリアル類

日用品／ハンドソープ、アルコール除菌スプレー、ゴミ袋、ポリ手袋、生理用品など

食ナビNEWS（ニュース）

パルシステム東京からのお知らせや、最近のニュースに関連した情報をお伝えします。

■GM蚊の放出実験がいよいよ現実に

「食ナビ NEWS」2020 年 2 月号で、遺伝子組み換え(GM) 蚊の放出実験が世界各地で進んでいるとお伝えしましたが、米フロリダ州フロリダキーズで 2021〜22 年にかけて 7億5000万匹の GM 蚊を放つ計画が承認されました。感染症を媒介するやっかいな蚊を抑制するためと州や郡も正式に許可をしましたが、「遺伝子操作した蚊が、人間や環境に与えるリスクの検証が不十分」として地元住民や環境保護団体は反対しています。

■米国議会 子どもを守る農薬規制強化法案提出

ネオニコチノイド系、有機リン系の殺虫剤、除草剤パラコートなどを禁止する、農薬規制強化法案が8月米国議会に提出されました。子どもや環境に有害な農薬の禁止、危険農薬の規制強化、農薬を使用する生産者の保護など、農薬企業に反対する内容になっています。これを機に、米国の農薬行政が企業側から消費者・生産者側に変化することが望まれます。

詳細はパルシステム東京のホームページで　パルシステム東京　検索　http://www.palsystem-tokyo.coop/

配達日1週間前に欠品情報をご連絡

ご注文された商品が欠品になった場合、欠品情報をお知らせしています。

欠品情報自動お知らせダイヤル　**0120-829-804**
（受付　注文書提出日翌日 18 時〜配達日前日）

欠品お知らせメール（インターネット登録されている方）
注文締め切り日の 18 時以降にメールで連絡
追加情報は配達当日の午前8時頃

パルシステム　ネット登録　検索